

2009年度

科目名	ジェンダー論(総合講座)B			コード	54550
担当教員	李 和子、日合 あかね			単位数	2
配当	文 3・人間3				
開期	後期	講時	金曜日4限		
授業テーマ	「性」に関する「常識」や「思い込み」を再検討する。				
目的と概要	「性」は、語りの寡少と過剰の中で、「常識」や「思い込み」というものが充満している。例えば、「性別」には「男性」と「女性」の二つしかない、「セクシュアリティ」には「異性愛」しかないと思込んでいる人がほとんどである。そこで、本講では、こうした性に関する思い込みや常識を問うてきたジェンダー論の歴史的発展・関心の変遷、ジェンダー論で頻繁に用いられる基本的な用語について解説する。また、受講者とともに、この思い込みが自分自身や他者および社会全体に与えるインパクトについて検討し、そのような思い込みが生まれる背景・構造を見つめ、これを転換するための方途について考えていく。				
成績評価法	「講義時のミニ・レポート」(50%)と学期末の「レポート」(50%)で評価します。				
テキスト	適宜コピーして配布する。				
参考書	適宜指示する。				
履修に当たっての注意・助言					
講義計画					
<p>1回目:私と女性問題(アプローチと問題意識)…個人の問題から社会の問題へ、性差別を見抜く力をつける。</p> <p>2回目:「慰安婦」問題って何?…日本軍「慰安婦」問題のビデオ視聴と解説</p> <p>3回目:「慰安婦」問題と私たち(その1)…「慰安婦」問題の成り立ちと実態</p> <p>4回目:「慰安婦」問題と私たち(その2)…戦争責任、性の二重規範、民族差別など「慰安婦」問題の本質</p> <p>5回目:今、アジアの女性たちは…アジアの女性に対する暴力の実態をビデオなどで紹介、解説</p> <p>6回目:女性に対する暴力は人権侵害…性暴力根絶に向けた日本国内外の取り組み、女性たちの活動</p> <p>7回目:私の生き方を見つめる、考える…グループ討議(前回のミニ・レポートを参考資料とする)</p> <p>(以上、李担当)</p> <p>8回目:ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その1)…なぜセクシュアリティが問題となるのか</p> <p>9回目:ジェンダー研究におけるセクシュアリティの問題(その2)…セクシュアリティに関するジェンダー問題を知る</p> <p>10回目:女性問題と性的自由について…ジェンダー問題を性的自由という観点から捉える</p> <p>11回目:理念と現実社会…理念と現実の社会とのギャップを考える</p> <p>12回目:恋愛の形式について…現在の恋愛のあり方を問い直す</p> <p>13回目:なぜ結婚するのか(その1)…結婚とはどのようなものなのかを検討する</p> <p>14回目:なぜ結婚するのか(その2)…憲法第24条についての議論を紹介する</p> <p>15回目:まとめ…グループ討論と質疑応答</p> <p>(以上、日合担当)</p>					